

ごあいさつ



平素より気仙沼信用金庫に対しまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針や業務内容、財務内容をはじめ、各種地域支援の取組みをご理解いただくため、「気仙沼信用金庫ディスクロージャー2022」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

さて、早いもので東日本大震災から11年が経過いたしました。この間、地域の復興はインフラ整備が加速し、待望であった気仙沼大島大橋、気仙沼湾横断橋の開通や三陸沿岸道路の全線開通は、当地域のみならず三陸地域一円にとって、観光と産業の両面において非常に大きな効果が期待されております。

こうしたなか、新型コロナウイルス感染症の影響は3年近くにも及んでおり、当地域におきましては、連続テレビ小説の放映といった明るい話題はあったものの、基幹産業である漁業、水産加工業は勿論のこと、宿泊業や飲食業など多くの業種で厳しい経営を余儀なくされております。

また、ロシアによるウクライナ侵攻をうけて、全世界的に不安定さが増すなか、原油をはじめとする資源価格の上昇や物流の停滞に伴う仕入れ価格の高騰など、事業者や家計への負担が増大しており、経済環境はますます厳しさを増しております。

2021年度は、東日本大震災で全壊した店舗のうち、最後まで残っていた大船渡支店を新築することができ、これにより、お取引先皆様へのサービス向上に向けた被災店舗網の整備を完了することが出来ました。

2022年度は、前述の状況下から金融機関を取り巻く経営環境は、厳しさを増すものと思われませんが、当金庫としましては、経費の削減や業務の効率化を図りつつ、金融仲介機能の発揮やSDGsの取組みなどを実践していくことで、持続性のある経営基盤を構築し、地域の持続的発展に役職員一丸となって貢献して参る所存でございますので、会員の皆様方には一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

気仙沼信用金庫
理事長 小山 栄太郎

